

# 虹の会 通信



NPO法人障がい者福祉の虹の会  
 本部：神奈川県座間市入谷東2-8-3-912  
 HP：https://www.nijinokai-sasaeai.com Email:ohba\_zama\_3\_912@r.sannet.ne.jp  
 TEL:090-2484-5426 FAX:046-256-0560  
 支部：神奈川県大和市深見3212-7 Email:kj6.yamaga@gmail.com

## 虹の会 第6回講演会開催！

令和6年6月8日（土）、ユニコムプラザさがみはら（相模原市南区相模大野）のセミナールーム2を会場に「障害のある方の想いを想像できる感性を福祉スタッフと家族に育てるには？」の講演会を開催しました。

### 本人の立場で考える

本会は、相模原市教育委員会・座間市・大和市・座間市教育委員会・座間市社会福祉協議会・大和市教育委員会・大和市社会福祉協議会の後援のもと開催された講演会であり、NPO法人障がい者福祉の虹の会「講演会・研修会事業」の第6弾となります。

会場には、福祉施設管理者・職員、ご家族、行政機関職員、学生、当会で過去に講演くださった講師の方々など、関係者を含めて延べ63名が参加し、大変盛況な会になりました。



講演会当日参加者に配布された冊子



中山 清司 氏

講師は、中山清司氏（自閉症eサービス全国ネット代表・写真㊤）。ファシリテーターは、おなじみ志賀利一氏（社会福祉法人横浜やまびこの里理事・写真㊦）。

大阪から駆けつけてくださった中山氏は、会場に訪れた参加者と一緒にやかに挨拶を交わし、再会を喜び参加者も多数見受けられ、アットホームな雰囲気の中講演会がスタートしました。



志賀 利一 氏

発達障害の中でも自閉症の理解と支援についての具体的なお話がメインの講演となりました。

参加者に配布された冊子には、中山氏作成の60枚にも及ぶスライドが収められ、更には会場のスクリーンで、実際の現場での支援の様子などを短い動画で見せてくださいました。

「情報の処理の仕方が違う、つまり、物の捉え方、感じ方、理解の仕方が違う」自閉症の方たちにとっては、情報や刺激が多すぎる環境ではパニックにもなるし、そこだけを切り取って場当たりの感覚的に叱ってしまうのは誤学習にもつながるし悪循環。

この行動の理由を想像すること。日々の支援は観察からです、とお話しされました。

### ポジティブに支援する

問題行動が起こると、多くの人は「やってはいけない」と言いがちですが、より具体的に肯定的に示すことが大切であると、具体例を挙げてお話しされました。

本人のポジティブな行動をポジティブに支援する「ポジティブ行動支援」は、丁寧なアクセスメントを基に一人ひとりに合わせた個別プログラムの組み立てをチームでおこなうこと。それを家でも作業場でも継続していくことが本人の豊かな暮らしに繋がる、としました。

中山氏の講義、充実のテキストとスライド、そして動画の組み込みは説得力があり、支援をしていく上で大切な視点が詰まった講演となりました。

小休憩の後はQ&Aタイム。志賀氏や中山氏の、かつての失敗談は、会場の参加者たちを和ませ、その後の質問も活発に飛び交いました。

トイレレットペーパーを最後まで使い切る行動の悩みに関し、ペーパーに赤い線を引く、コップにもペットボトルにも線を引く、つまり線を意識しよう、というところから「視覚的なもの」を手掛かりに、そこで区切る・終わるを意識させる工夫のお話をされました。

参加者一人ひとりが、本人の想いを想像しながら肯定的に係わる意識を高めた一日になったのではないのでしょうか。

### 《次回の講演会》

2024年10月19日（土）ユニコムプラザさがみはらセミナールーム2にて開催します。

当会ホームページ

